

新型 追尾式太陽光架台システム 完成!



HONGO PRESS



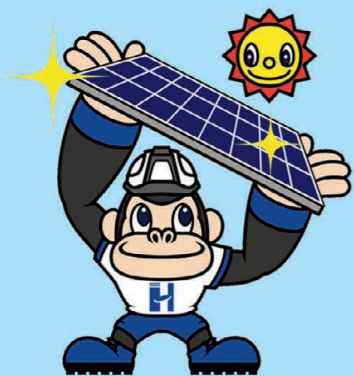
10



- ▲ 固定式太陽光パネルと組み合わせ、より効率的な発電が可能に
- ◀ 太陽の動きに合わせて大きなパネルを動かす追尾式架台

新システムでエコビジネスフェアに参加!

本郷工業は6月16日、京都市勤業館みやこめっせで開催される「エコビジネスマッチングフェア2017」(株式会社滋賀銀行など主催)に参加し、今年3月に完成した新型追尾式太陽光発電システムを初めて市場に向けてアピールします。新型システムは滋賀県米原市醒ヶ井ですでに建設が完了しています。狭小地や、斜面などでも建設が可能で、固定式の太陽光発電よりも発電効率が良い追尾式太陽光発電システムの魅力を発信していきます。お近くに来られた場合は、ぜひ本郷工業ブースにお立ち寄り下さい!



有限会社本郷工業
 [草津施工管理本部]
 〒520-0058 滋賀県草津市野路東 6-3-4 プレジオ 3 1F
 TEL.077-566-8200 FAX.077-566-2234

[近江八幡営業所]
 〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町 206-23 プレジオ 5 5F
 TEL.0748-43-2117 FAX.0748-43-2118

MAIL.hongo@pop.biwako.ne.jp HP.www.hongou-i.jp

笑顔
 エンデスト
 実施中!



お客様との笑顔にそれぞれのストーリー

私たちは仕事を通じ、全てのお客様、地域みな様に「笑顔」をもたらす企業でありたい! 笑顔をおさめた一枚の写真は「絆」「信頼」の証! 引き続き、よろしくお願いたします。

実施期間: 2017年3月から12月まで



現場代理人
佐藤守 (31歳)

挑戦しろ 失敗して学べ

日本初の新事業、担った誇り胸に

会社で新しい事業に着手するとき、現場では「勘のいい」仕事をできる人材が必要になるものだ。本郷工業が自社開発した追尾式太陽光発電システムの架台建設に挑んだ三年前、そんな人材が必要だった。日本初の追尾式の架台建設は、会社内にも前例がない工事。白羽の矢が立ったのは、基礎工事の経験が豊富な一人の若い現場代理人・佐藤守だった。

「太陽光の仕事をやっていきます。面白いですよ」。取材冒頭、佐藤は胸を張り、白い歯を見せた。本郷工業入社前、高校卒業から八年、ずっと県内大手の住宅メーカーの基礎工事に従事していた。来る日も来る日も地面に向き合い基礎を打ち続けた。そこで培った確かな技術が、新事業に活かされた。「追尾式の太陽光システムは、大きな太陽光パネルを安定的に動かさなければ



ならない。大きな架台、正確な基礎の造設が必要になります」。新事業の命運を握る第一号機。任せられた重責に、まだ入社二年目の佐藤は応え、やり切った。

今も仕事の半分は太陽光事業だ。「他社で、どこもやっていない仕事をやらせてもらえる」。本郷工業で働く魅力だ。佐藤は、すでに滋賀県内八か所ある太陽光発電システム建設の全てに関わった。

愛する会社の流儀 その先に

入社二年目にして重責を担った佐藤だが、結構大きな「失敗」もやらかしている、という。入社半年、基礎工事を得意とす

る佐藤に、社長の本郷智也は「造成しようか」と、経験のない仕事をいきなり投げつけてきた。「お前ならできる」。山を切り開き整地にする大津の現場だった。工期は三月だった。先輩に教えを請いながらやってみたが、工事が完了したのは四ヶ月後。一ヶ月の工期延長で「全く利益は出なかった。苦い経験でした」。一方で「造成の技術を覚えたのは、その現場だった」と言い切った。「失敗」を糧に多くの「学び」を獲得していた。その先に追尾式太陽光発電システムの架台造設があった。「新しいことに挑戦させてくれる会社。失敗して学べ」。それが、佐藤が愛する「本郷工業の仕事の流儀」だ。

もっと上へ。 次の挑戦は☆☆

現在、現場代理人は佐藤を含め12人。能力に応じ、☆の数でランク付けする現場代理人の中で、佐藤はまだ☆☆(ワンスター)だ。「☆☆(ツースター)へ」。佐藤の次の挑戦だ。

☆☆とは何か―その違いを☆☆現場代理人で、佐藤の「師匠」でもある池田仁一に教わった。佐藤は一つ一つ具体的に



「違い」を語った。「盛土の美しさが違う。機材が現場ではきれいにそろう。見積もりも一日早くお客様に届く。連絡・相談が早い」。太陽光パネルが空に向かっていくように、佐藤は「もっと上を目指したい」と顔を上げた。

50歳のときには二軒目のマイホームを

24歳で結婚し、二人のかわいい娘に恵まれた。二年前には念願のマイホームも手に入れた。ディズニー映画を観て泣くような優しい長女は今春小学生になった。三歳の次女も日々、「わんぱくさ」を発揮してすくすくと育っている。最近、子供との時間を取るためにも、仕事を配分している。「最近、50歳までにもう一軒、家を建てたいと思っています」。

家族からの
メッセージ



妻・由香里さん

責任感強い人なので、いろんなこと抱え込むとお腹にくるの、少し心配です。くれぐれも無理ないように、がんばってほしいです。日曜日、お父さんが家にいるのがうれしい娘二人は、もっと遊んでほしいそうです。もう少し早起きしてくれたら最高です！

The key person for Mamoru Satou



池田仁一 (43)
☆☆☆現場代理人

この数年で仕事への意識も変わり、いい仕事ができている。でも、原価管理、現場での人の采配など、まだ学ぶべきところはある。早く☆☆☆になって、自分の弟子を育てる立場になるのを期待しています。私の物件を全部任せる日が来ることを楽しみにしています。

NEXT PRESS

かわいいお嫁さん募集中の現場代理人・奥本健二 (34)です。ぜひ、次号をお楽しみに！

HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりをみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

筆者紹介：住田崇(すみだ たかし) 元京都新聞記者。 民泊管理運営代行・WEB制作会社(株)スタートレック KYOTO 代表取締役。京都市在住。